



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



郡築小ホームページ

学校教育目標「自ら学ぶ子供」 R8,6,10 No.8

集団宿泊教室に行ってきました

5月14日(木)、5年生は、「集団宿泊教室」に参加するために、「あしきた青少年の家」へ出かけました。

2日間とも、天候に恵まれ、マリン活動など予定通りに活動することができました。家族から離れて生活することに不安を抱いていた子供もいたことと思いますが、この体験を通して「自立心」や「協調性」を育み、豊かな自然の中での体験を通して「感謝の心」や「責任感」を学び、たくましくなって帰ってきました。

この貴重な体験が、今後の家庭生活や学校生活で生かされることを期待しています。

保護者の皆様のご協力及びバス駐車場として敷地をご提供いただいたJAトマト選果場の方々に、心より感謝いたします。



生活学習委員会(児童会活動)の活動について

5月19日(火)、児童会主催の児童集会が行われました。

まず、今年度の児童会目標を全員で確認した後、今回は、生活学習委員会が学校生活の向上を目指した取組を発表しました。

その内容は、八代市立の全小・中学校で、育ちと学びの土台(集団生活の基礎)づくりとして取り組んでいる「やつしろスピリッツ」(あいさつ・ききかた・そろえかた)の中の「そろえかた」が向上することを願ったものでした。

「靴のかかどを靴箱のへりに揃える」ことや「机の中の学習用具の整理整頓」について、画像を使いながら分かり易く伝えていました。このことが、多くの子供の意識の向上に繋がることを願っています。



本校では、児童会活動(各委員会活動)や学級会、係活動など、子供たちが自ら課題を見つけて解決する活動、いわゆる「自治的活動」を大いに支援しています。そして、この活動を通して、子供たちに「主体性」や「協調性」、「自己実現」など、生涯にわたって重要なスキルを身に付けさせたいと思っています。

挨拶でつなぐ地域の輪

今朝も、多くの子供が歩いて登校し、元気よく明るい挨拶をして校門をくぐりました。その挨拶について、地域の方から「最近特に子供たちの挨拶がよくなった」とお褒めの言葉をいただきました。

子供たちに身に付けてほしい力は数々ありますが、今年度はまず(活気ある学校づくりの一環として)「いつでも誰にでも元気のよい明るいあいさつを自らしよう」と呼びかけてスタートしました。

すると、運営委員会(児童会活動)の子供たちが、早速その推進に立ち上がりましたので、その活動の支援と共に、職員の率先垂範、機を逃さない賞賛の声かけ、機運醸成をねらったポスター掲示などを通して、挨拶に係る機運醸成を図っていた矢先のお言葉でしたので、大変嬉しく思いました。

この元気のよい明るい挨拶は、きっとこの地区を明るく潤いのある場所にするものと思います。これからも「学校は練習の場、本番は地域社会」を合い言葉に奨励していきます。



大人が「おはよう」と言えば、子供は「おはよう」と返します。
大人が「おはようございます」と言えば、子供は「おはようございます」と返します。
大人が笑顔で挨拶すれば、子供は笑顔で挨拶するようになります。
子供は大人の行動や表情をよく見えています。